



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月30日

上場会社名 日本精化株式会社 上場取引所 東
コード番号 4362 URL <https://www.nipponseika.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 矢野 浩史
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大倉 善弘 TEL 06-6231-4781
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,179	△13.4	1,960	△28.1	2,122	△26.9	1,499	△23.4
2023年3月期第2四半期	18,677	15.2	2,727	14.2	2,905	15.4	1,956	15.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,010百万円 (2.6%) 2023年3月期第2四半期 1,958百万円 (△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	65.72	—
2023年3月期第2四半期	82.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	57,743	47,506	80.7
2023年3月期	56,672	46,101	79.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 46,604百万円 2023年3月期 45,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	△3.6	4,400	△13.0	4,700	△12.8	3,250	△20.3	142.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	25,372,447株	2023年3月期	25,372,447株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,530,981株	2023年3月期	2,563,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	22,819,291株	2023年3月期2Q	23,621,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年11月13日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法第5類へ移行され、外国人旅行者も新型コロナ感染拡大前の水準に戻りつつあり、経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方、海外に目を向けると、ウクライナ情勢の長期化による世界的な資源・エネルギー価格の高騰、中国経済の下振れ懸念など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなかで、当社グループは経営基盤の更なる強化に取り組むとともに、収益拡大への貢献が期待できる品目への選択と集中を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は161億7千9百万円（前年同四半期比13.4%減）となりました。利益面は営業利益19億6千万円（同28.1%減）、経常利益21億2千2百万円（同26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億9千9百万円（同23.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① 機能性製品

当セグメントにおきましては、売上高は125億8千9百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は16億9千3百万円（同25.1%減）となりました。

（参考）

（単位：百万円）	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	対前年差額	前年度比 増減率
ビューティケア	3,828	4,031	202	5.3%
ヘルスケア	2,705	2,326	△ 378	△ 14.0%
ファインケミカル	3,908	2,499	△ 1,408	△ 36.1%
トレーディング	4,141	3,732	△ 409	△ 9.9%
売上高 合計	14,583	12,589	△ 1,994	△ 13.7%
ビューティケア	1,095	1,174	79	7.2%
ヘルスケア	366	△ 0	△ 366	△ 100.0%
ファインケミカル	657	353	△ 304	△ 46.3%
トレーディング	142	165	23	16.2%
営業利益 合計	2,261	1,693	△ 568	△ 25.1%

（ビューティケア）

海外景気の減速を背景に、海外向けの化粧品用ウールグリース誘導体の販売は減少しましたが、海外向け化粧品用機能性油剤はサステナブルな顧客ニーズに対応した拡販活動により販売が増加致しました。また、国内向け化粧品用リン脂質素材についても拡販が順調に進捗し販売が増加致しました。

（ヘルスケア）

医薬品用リン脂質の新プラントにおける商業生産開始に向けたテスト生産を計画通り実施した影響と上期に出荷を予定していた品目の下期出荷時期ずれもあり、医薬品用リン脂質の販売が減少致しました。また、新プラント立ち上げに伴い減価償却費が増加致しました。

（ファインケミカル）

海外景気の減速を背景に、脂肪酸アマイド、酸クロライド、工業用ウールグリース誘導体の販売が減少致しました。

② 環境衛生製品

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更以降、感染症対策製品への需要が落ち着いたことに加えて、市場における在庫調整の影響を受けて手指消毒剤の販売が減少致しました。この結果、売上高は34億6千2百万円（前年同四半期比12.0%減）、セグメント利益（営業利益）は2億1千3百万円（同44.3%減）となりました。

③ その他

その他の事業の売上高は1億2千8百万円（前年同四半期比18.7%減）、セグメント利益（営業利益）は5千4百万円（同34.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度（以下「前期」という。）比10億7千万円増加し、577億4千3百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加などにより流動資産が8億7千1百万円増加

し、投資有価証券の増加などにより固定資産が1億9千9百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前期比3億3千4百万円減少し、102億3千6百万円となりました。これは主として、未払法人税等の増加などにより流動負債が1億1千6百万円増加した一方、繰延税金負債の減少などにより固定負債が4億5千1百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前期比14億5百万円増加し、475億6百万円となりました。これは主として、配当金の支払い6億6千1百万円により減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上14億9千9百万円による増加などにより株主資本が9億2千7百万円増加し、その他有価証券評価差額金の増加などによりその他の包括利益累計額が4億1千万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

環境衛生製品分野において、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更以降、感染症対策製品への需要が落ち着いたことに加えて、市場における在庫調整の影響を受けて手指消毒剤の販売が減少致しました。第3四半期以降も手指消毒剤の販売回復には相応の期間を要することが予想され、2023年4月28日公表の業績予想から通期連結業績予想を修正致しました。業績予想における主な為替レートは、1米ドル=140円、1ユーロ=150円を前提としております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,937,431	10,336,421
受取手形及び売掛金	8,855,955	8,548,075
商品及び製品	4,001,642	4,077,062
仕掛品	2,290,016	2,743,726
原材料及び貯蔵品	4,718,263	4,466,371
その他	788,202	291,164
貸倒引当金	△695	△663
流動資産合計	29,590,815	30,462,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,737,425	6,623,875
機械装置及び運搬具（純額）	1,285,637	2,812,106
土地	3,719,989	3,719,989
建設仮勘定	1,794,239	119,115
その他（純額）	690,084	731,334
有形固定資産合計	14,227,376	14,006,422
無形固定資産		
投資その他の資産	521,691	640,829
投資有価証券	12,017,715	12,275,764
退職給付に係る資産	67,408	75,071
その他	247,729	283,049
投資その他の資産合計	12,332,853	12,633,885
固定資産合計	27,081,921	27,281,137
資産合計	56,672,737	57,743,296

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,256,778	3,810,753
未払金	839,820	630,499
未払法人税等	607,013	1,090,113
賞与引当金	717,500	635,323
役員賞与引当金	79,752	18,897
環境対策引当金	—	426,000
設備関係未払金	459,535	217,148
その他	655,448	903,579
流動負債合計	7,615,849	7,732,316
固定負債		
繰延税金負債	2,655,149	2,232,244
退職給付に係る負債	144,956	128,113
長期未払金	15,600	19,659
長期預り保証金	102,890	90,516
資産除去債務	9,430	9,430
その他	27,652	24,580
固定負債合計	2,955,679	2,504,544
負債合計	10,571,528	10,236,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,933,221	5,933,221
資本剰余金	6,821,920	6,870,796
利益剰余金	28,513,077	29,351,430
自己株式	△3,171,070	△3,131,121
株主資本合計	38,097,149	39,024,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,469,379	6,698,245
繰延ヘッジ損益	3,275	5,070
為替換算調整勘定	697,997	877,422
退職給付に係る調整累計額	△1,156	△1,055
その他の包括利益累計額合計	7,169,496	7,579,683
非支配株主持分	834,562	902,424
純資産合計	46,101,208	47,506,435
負債純資産合計	56,672,737	57,743,296

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,677,377	16,179,996
売上原価	13,047,874	11,394,999
売上総利益	5,629,502	4,784,996
販売費及び一般管理費	2,901,725	2,824,373
営業利益	2,727,777	1,960,623
営業外収益		
受取利息	6,407	5,798
受取配当金	149,120	156,372
為替差益	764	—
雑収入	22,931	20,962
営業外収益合計	179,223	183,133
営業外費用		
支払利息	645	644
為替差損	—	3,210
減価償却費	—	15,830
雑損失	1,227	1,234
営業外費用合計	1,872	20,920
経常利益	2,905,128	2,122,836
特別利益		
固定資産売却益	2,247	259
投資有価証券売却益	—	484,271
特別利益合計	2,247	484,531
特別損失		
固定資産除却損	11,454	5,941
投資有価証券売却損	13,889	—
投資有価証券評価損	—	49,021
環境対策引当金繰入額	—	426,000
特別損失合計	25,343	480,963
税金等調整前四半期純利益	2,882,032	2,126,405
法人税、住民税及び事業税	830,015	1,106,954
法人税等調整額	49,945	△524,687
法人税等合計	879,960	582,266
四半期純利益	2,002,072	1,544,138
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,956,872	1,499,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	45,200	44,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△223,619	228,866
繰延ヘッジ損益	△7,921	1,989
為替換算調整勘定	188,787	235,570
退職給付に係る調整額	△538	101
その他の包括利益合計	△43,291	466,526
四半期包括利益	1,958,780	2,010,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,869,295	1,910,003
非支配株主に係る四半期包括利益	89,485	100,662

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,882,032	2,126,405
減価償却費	445,586	605,644
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,903	△32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,365	△16,843
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△29,778	△7,663
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	426,000
受取利息及び受取配当金	△155,527	△162,171
支払利息	645	644
為替差損益 (△は益)	△11,792	△21,689
投資有価証券売却損益 (△は益)	13,889	△484,271
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	49,021
有形固定資産除売却損益 (△は益)	9,206	5,681
売上債権の増減額 (△は増加)	△506,876	347,919
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,309,725	△208,076
預り保証金の増減額 (△は減少)	382	△12,373
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,147	△415,335
その他	△241,632	448,792
小計	1,167,019	2,681,651
利息及び配当金の受取額	155,527	162,171
利息の支払額	△645	△644
法人税等の支払額	△1,063,208	△639,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,693	2,203,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△206,600
定期預金の払戻による収入	101,450	—
有形固定資産の取得による支出	△452,295	△530,392
有形固定資産の売却による収入	2,600	260
無形固定資産の取得による支出	△84,778	△231,260
投資有価証券の取得による支出	△804	△818
投資有価証券の売却による収入	25,125	519,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△408,703	△448,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,968	△4,277
配当金の支払額	△684,849	△661,463
非支配株主への配当金の支払額	△36,841	△32,801
自己株式の取得による支出	△76	△618
その他	47	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△725,688	△699,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	47,882	58,139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△827,815	1,113,354
現金及び現金同等物の期首残高	11,410,777	7,766,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,582,961	8,879,570

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	機能性製品	環境衛生 製品	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	14,583,716	3,936,018	18,519,734	—	18,519,734	—	18,519,734
その他の収益	—	—	—	157,642	157,642	—	157,642
外部顧客への売上高	14,583,716	3,936,018	18,519,734	157,642	18,677,377	—	18,677,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	146,475	16,467	162,942	15,808	178,751	△178,751	—
計	14,730,191	3,952,485	18,682,676	173,451	18,856,128	△178,751	18,677,377
セグメント利益	2,261,095	383,626	2,644,721	83,055	2,727,777	—	2,727,777

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	機能性製品	環境衛生 製品	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	12,589,611	3,462,195	16,051,806	—	16,051,806	—	16,051,806
その他の収益	—	—	—	128,189	128,189	—	128,189
外部顧客への売上高	12,589,611	3,462,195	16,051,806	128,189	16,179,996	—	16,179,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	90,631	15,643	106,275	70,981	177,256	△177,256	—
計	12,680,242	3,477,839	16,158,082	199,171	16,357,253	△177,256	16,179,996
セグメント利益	1,693,060	213,523	1,906,584	54,038	1,960,623	—	1,960,623

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業分野に基づきセグメントを再編しております。

従来の「工業用製品」は「機能性製品」セグメントと名称変更し、「家庭用製品」のうち当社家庭用製品と「その他」のうち薬理・安全性試験の受託事業を編入しております。従来の「家庭用製品」セグメントは「環境衛生製品」と名称変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。